



活力ある秋田 Vol. 66

秋田を語り続ける これが私の恩返し

[秋田市観光クチコミ大使]

アサヒビール(株) 広域営業第一部長 **富岡 清一郎 氏**

秋田を離れ、僭越ながら秋田市観光クチコミ大使としての役目を意識しながら新任地東京で過ごしていると、改めて秋田の魅力を知らない方が多いなあと感じます。私が所属する社内メンバーに「秋田のイメージは？」と尋ねると、なまはげ、竿燈祭り、かまくら、きりたんぼ、秋田こまち、ハタハタ、佐々木希等々。FACE TO FACEで秋田を語る大切さを改めて感じました。美しい四季、温かい県民性（美しい心）、澄んだ空気、癒し、心豊かになる秋田を一人でも多くの方に伝えていきたいと思っています。

縁もゆかりもなかった秋田に赴任したのが2011年9月。公私にわたり、本当にお世話になりました。弊社は平成元年に秋田市に事務所を構え、私は7人目の支社長として着任しました。私の最も大事な役割は、本業を通じた社会との結びつき、地域社会にどのように貢献出来るかということでありました。秋田の皆さまから信頼されて、必要とされて、はじめてアサヒビールとして存続できるわけです。当初は何をしてよいかわからず、多くの経営者の方々からアドバイスを頂いた中で、特に秋田県の宝ともいべき「民俗芸能」の多さと多様性に驚き、その背後にある地域の絆、伝統と歴史に心を打たれ、その传承活動に少しでもお役に立ちたいという思いに駆られました。微力でしたが、秋田の皆さまに購入いただいたスーパードライの売上金額の一部をご寄付させていただいたり、国民文化祭のオフィシャルスポンサーとして手を上げさせていただきました。

また地域の活性化に本気で取り組む多くの方と出会う機会をいただきました。私のような会社ですと、地域の食を通じたまちおこし活動が特に目に飛び込んでくるわけですが、秋田かやき協議会

をはじめ、利潤を追求したものではなく、地域を盛り上げていくために本気で取り組まれておりました。その理念に心から感動しました。

秋田は空気が澄んでいて本当に美しいところだと思います。多くの方がご指摘されているように、この様々な秋田の資源や魅力をいかに情報発信し、届けていくか。全国各県に負けずに頑張りたいと願っています。

最後に三浦会頭に転勤のご挨拶に伺った際に、お気遣い頂いてクチコミ大使のお話をいただきました。正直驚きましたが、私自身の存在を認めていただけたようで、この上ない喜びでした。

私は現在、広域営業本部という本社の部署で全国系の組織小売業を担当しております。秋田を離れる際にご当地ネクタイを5本いただき、PR活動に役立てております。ネットの進化で日々秋田の情報が入ってくる時代となり、何とも離れた気がしませんが、一回り成長した姿で秋田の皆さまにお会いできるよう、新任地で日々頑張っております。



■略歴

昭和44年	東京都練馬区生まれ
平成3年	アサヒビール株式会社入社 入社後、経理、営業、企画部門を経験
平成23年9月	秋田支社長
平成26年4月	広域営業本部広域営業第一部長